



# 学校だより

6月号

横浜市立桜台小学校

2019年5月31日発行

## ムヤクタ

校長 小宮 健

今月はまず、先月の巻頭言で書かせていただいたクイズの答えをご説明します。

「夢」を叶えるための第一歩として必要なことは…？ ヒントは「ム・ヤ・ク・タ」です。

というクイズでした。「サ・シ・ワ・タ」→「夢」のクイズよりも子どもたちにとって難易度は高く、低学年の児童で理解できたのは予想通り少数のようでした。

「ム・ヤ・ク・タ」のヤを漢字に、クはひらがなにしてお三つ並べると、「ム・矢・くく・タ」となります。それを縦に並べて左側に「扌（手へん）」をつけます。答えは——「挨拶」。

「では、夢を叶えるために、なぜ挨拶が必要なのでしょう。考えてみてください。」と、さらに子どもたちへ問いかけました。そしてその数週間後に次のような話をしました。

「夢をもつと、人には目標が生まれます。その目標を達成することは、自分ひとりの力だけではなく、多くのかかわりや人の支えが必要になります。人間関係があってこそその夢の実現であり、その第一歩が『挨拶』であるということです。将来、人とつながり、人と向き合っていけるように、桜台のみんなは『自分から挨拶できる子』になってほしいと思います…。」

さて、いよいよ明日は「令和」初の運動会です。胸が高鳴ります。校長として初めて迎える運動会であるというのも理由の一つですが、桜台小の子どもたちがそれぞれひたむきに練習に取り組んできた成果が本番で見られること、輝く姿となって表れることが心の底から楽しみだからです。

例えば、個人の力を試す種目の「徒競走」。走る前の緊張感と全力を出し切った後の爽快感、心から込み上げてくる嬉しさや悔しさは、徒競走ならではの産物であり、正に生きた学習の場面なのではないでしょうか。1位でテープを切っても、歯を食いしばって走った結果6位でゴールしても、胸を張ってほしいです。全力を出し切ったことを我々指導者はしっかりと価値付けて、子どもたちの自尊感情を醸成する使命があると思っています。

これまで、全校の子どもたちに「自分たちの力で創り上げる運動会にしていこう」と呼びかけてきました。運動が得意な子もそうでない子も、決して「やらされる」のではなく、「自らやろうとする」気持ちをもてるように教職員の力を合わせて、指導・支援してまいりました。明日は子どもたちと一緒に達成感を共有できることを期待しています。ご家庭でもお子様の頑張りをぜひ褒めてあげてください。

最後になりましたが、本校の運動会がこうして盛大に開催できるのも、雨の日も風の日も子どもたちが安全に登下校できるようにご尽力いただいている学援隊、いつもまちの中で子どもたちを温かく見守っていただいている地域、器楽クラブを熱心に指導していただいているアシスタント・ティーチャー、準備や運営面で快く協力して支えていただいているPTAなど多くの方々のおかげです。

皆様、ありがとうございます。